

つくばエキスポセンター見学 「はやぶさ」の 衝撃的な魅力

市議会議員 持田 繁義

小惑星探査機、その名は「はやぶさ」。世界初、月以外の天体着陸と小惑星・イトカワとの往復飛行の成功。その距離は六十億km、七年間の旅である。地球誕生の神秘、そして海・生命や材料物質がどう進化してきたのか、その解明へと。

日本の科学研究の果てしない挑戦、その知恵と力のすごさ。支える技術進歩。飛行途中、燃料漏れ、エンジンの故障、通信の途絶え等々。夢の実現へ絶対あきらめない。二万度の超高湿に耐え、運びこまれた小さなカプセル。

プラネタリウム見学

北条中一年 江部時季子

私は、夏休みに二泊三日で、つくば市のこども災害疎開体験講座に参加しまし

た。そして、つくばエキスポセンターのプラネタリウムを見学しました。このプラネタリウムは世界最大級の大きさで、会場も天井もとても広く感じました。

疎開宿舎体験 曹洞宗高雲寺に宿泊して

山本町内会長

真貝 順一

予定時間より相当遅れて高雲寺に着きましたが、子供さんと一緒に迎えてくださった和尚様、早速部屋に案内され男女二部屋に分かれて就寝す。

真新し建物の部屋には祭壇が構えてあり、また、エアコンも装備された十五坪ほどの部屋でごろ寝いたしました。

朝六時起床、一宿の恩義としてお寺の庭境内の掃き掃除、部屋洗面所の掃除をして、和尚様の中越沖地震の時、柏崎地区の復旧支援活動をされた体験等のお話をお聞きして高雲寺を後に致しました。

疎開宿舎体験に 参加して

北条中一年 村山 萌花

私はちびっ子災害疎開体験講座に参加しました。

二泊三日の中で、つくばの人たちと交流を深めたり、世界最大級プラネタリウムや、つくば実験植物園など、いろいろな所を見学しました。

その中で私は、疎開宿舎体験として曹洞宗高雲寺をいうお寺に泊まりました。寝袋で寝る時、昔戦争で疎開した人は、大変だろうなと思いました。

今回の体験を通して、疎開した人たちの大変さを知ることができ、参加して良かったなと思いました。

